Cisco Meraki Systems Manager の統合

Cisco Meraki Systems Manager の設定

Cisco Meraki Systems Manager はさまざまなプラットフォームをサポートし、一般的となっている多様なデバイスエコシステムを実現します。Systems Manager は成長している組織に向け、広範囲に及ぶ拡張性を備えたエンドポイント管理用の一元化されたクラウドベースのツールを提供します。Cisco Meraki Systems Manager を Cisco ISE の MDM サーバーとして統合し、コンプライアンスチェックとエンドポイントポリシー管理のために Cisco Meraki Systems Manager によって収集されたエンドポイント情報を活用します。

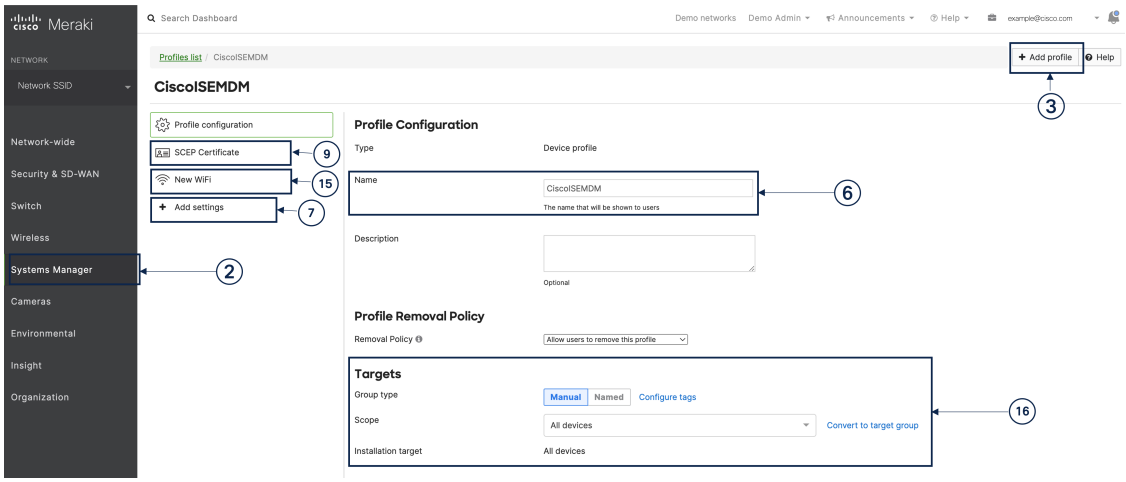
Cisco Meraki Systems Manager の詳細については、データシートを参照してください。

Cisco Meraki Systems Manager は、MDM API バージョン 3 をサポートし、接続されたエンドポイントの一意のデバイス識別子を Cisco ISE に提供できるようになりました。Cisco ISE でアクティブな Cisco Meraki Systems Manager 統合がすでにある場合は、Cisco Meraki Systems Manager で Cisco ISE 関連のデバイスプロファイルに対してステップ 8 ～ 15 を実行します。

Cisco Meraki Systems Manager を MDM または UEM サーバーとして設定する

このセクションの画像は、このタスク中に操作する必要がある Cisco Meraki Systems Manager の GUI フィールドを示しています。画像中の番号は、タスクのステップの番号に対応しています。

図 *1 : Cisco Meraki Systems Manager* を設定するためのステップ



始める前に

Cisco ISE で、管理者用に設定されたシステム証明書を作成してエクスポートします。この証明書は、次のタスクのステップ 12 で使用します。

システム証明書を作成およびエクスポートする方法については、ご使用のリリースの『Cisco ISE Administrator Guide』の「Basic Setup」の章の「System Certificates」のトピックを参照してください。

ステップ 1 Cisco Meraki Systems Manager ポータルにログインします。

ステップ 2 メインメニューから、**[システムマネージャ（Systems Manager）]>[管理（Manage）]>[設定（Settings）]** に移動します。

ステップ 3 [+プロファイルの追加（+ Add Profile）] をクリックします。

ステップ 4 表示される [新しいプロファイルの追加（Add New Profile dialog）] ダイアログボックスで、[デバイスプロファイル（デフォルト）（Device profile（Default））] ラジオボタンをクリックします。

ステップ 5 [続行（Continue）] をクリックします。

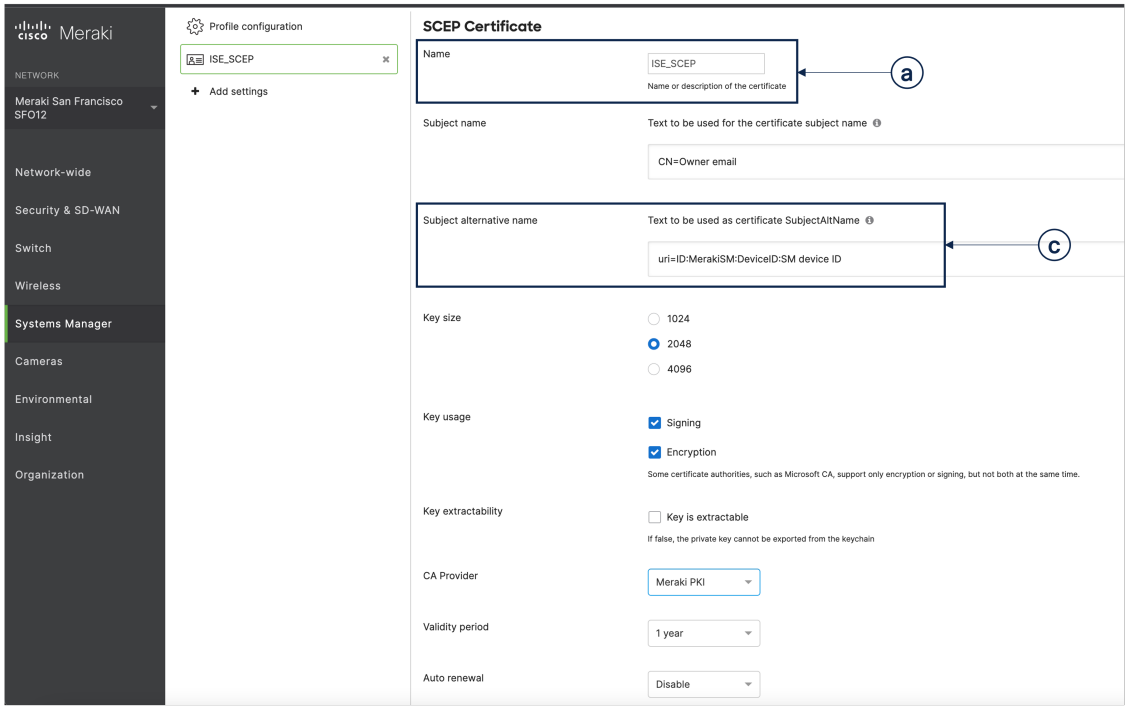
ステップ 6 [名前（Name）] フィールドおよび [説明（Description）] フィールドに必要な値を入力します。

ステップ 7 [+設定の追加（+Add Setting）] をクリックします。

ステップ 8 表示される [新しい設定ペイロードの追加（Add New Settings Payload）] ウィンドウで、[SCEP証明書（SCEP Certificate）] をクリックします。

ステップ 9 表示される [SCEP証明書（SCEP Certificate）] ウィンドウで以下のステップを実行します。

図 *2 : Cisco Meraki Systems Manager* の *[SCEP*証明書の設定（*SCEP Certificate Configuration*）*]* ウィンドウ



a) [名前（Name）] フィールドに、SCEP 証明書の名前を入力します。たとえば、**ISE_SCEP** などです。
b) [サブジェクト名（Subject name）] フィールドに、証明書の共通名の値を入力します。
c) [サブジェクト代替名（Subject alternative name）] フィールドに、**uri=ID:MerakiSM:DeviceID:$SM Device ID** と入力します。

   $ を入力すると、変数のドロップダウンリストが表示されます。リストから [SMデバイスID（SM Device ID）] を選択します。

d) [キーサイズ（Key Size）] エリアで、[2048] ラジオボタンをクリックします。
e) [キーの用途（Key Usage）] エリアで、[署名（Signing）] と [暗号化（Encryption）] チェックボックスをオンにします。
f) [CAプロバイダー（CA Provider）] エリアで、ドロップダウンリストから [CAプロバイダー（CA Provider）] を選択します。
g) [保存（Save）] をクリックします。

ステップ 10 [+設定の追加（+Add Setting）] をクリックします。

ステップ 11 表示される [新しい設定ペイロードの追加（Add New Settings Payload）] ウィンドウで、[証明書（Certificate）] をクリックします。

ステップ 12 表示される [証明書（Certificate）] ウィンドウで以下のステップを実行します。

a) [名前（Name）] フィールドに、証明書の名前を入力します。
b) [CertStore] ドロップダウンリストから、[システム（System）] を選択します。
c) [証明書（Certificate）] フィールドで、[ファイルの選択（Choose File）] をクリックし、このタスクの前提条件としてダウンロードした Cisco ISE のシステム証明書をアップロードします。

d) [保存（Save）] をクリックします。

ステップ 13 [+設定の追加（+Add Setting）] をクリックします。

ステップ 14 表示される [新しい設定ペイロードの追加（Add New Settings Payload）] ウィンドウで、[Wi-Fi設定（WiFi Settings）] をクリックします。

ステップ 15 表示される [Wi-Fi設定（WiFi Settings）] ウィンドウで以下のステップを実行します。

a) [SSID] フィールドに、参加する Wi-Fi ネットワークの名前を入力します。

b) [セキュリティ（Security）] ドロップダウンリストから、Wi-Fi Protected Access（WPA）オプションのいずれかを選択します。

c) [セキュリティ（Security）] ドロップダウンリストからエンタープライズオプションを選択すると表示される [エンタープライズ設定（Enterprise Settings）] エリアで、以下のステップを実行します。

1. [プロトコル（Protocol）] タブで、TLS などの証明書ベースのプロトコルのチェックボックスをオンにします。
2. [認証（Authentication）] タブの [ID証明書（Identity Certificate）] エリアで、ドロップダウンリストから、ステップ 10 で Cisco ISE のユースケースで作成した SCEP 証明書を選択します。
3. [トラスト（Trust）] タブの [信頼できる証明書（Trusted Certificates）] エリアで、ステップ 12 でアップロードした Cisco ISE 証明書の横にあるチェックボックスをオンにします。
4. [保存（Save）] をクリックします。

ステップ 16 [プロファイル設定（Profile Configuration）] タブの [ターゲット（Targets）] エリアで、ISE のユースケースのタグを追加します。Meraki Systems Manager でタグを作成および管理する方法については、『Manage Tags』を参照してください。タグを適用することで、関連するデバイスに証明書と Wi-Fi 設定を含む ISE プロファイルが適用されます。

ステップ 17 [保存されていない変更があります（You have unsaved changes）] ダイアログボックスで、[保存（Save）] をクリックします。

ステップ 18 左側のメニューペインから、[組織（Organization）] > [設定（Configure）] > [MDM] を選択します。

ステップ 19 [ISE設定（ISE Settings）] エリアから以下のステップを実行します。

a) Cisco ISE に入力する必要があるユーザー名とパスワードの詳細を書き留めます。

b) Cisco ISE で使用する必要がある SCEP 証明書をダウンロードするには、[ダウンロード（Download）] ボタンをクリックします。

次のタスク

次に、Cisco Meraki Systems Manager を Cisco ISE の MDM サーバーとして接続します。このタスクの実行方法についての詳細は、ご使用のリリースの『Cisco ISE Administrator Guide』の「Secure Access」の章にある「Configure Mobile Device Management Servers in Cisco ISE」を参照してください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。